

幸せを

無駄にしないように

女優 麻生 久美子さん

わたしが生まれ育った家の周りは、一面畑、田んぼ、杉林の何にもないところ。だから東京に来た時は、「人口密度が高すぎる」と思いました。今のわたしは、田舎で育ったからこそ、自分のペースを大事にできるような気がします。

わたしが小学生のときに両親は離婚。それからは母が女手ひとつで家庭を支えてくれました。自分の家が貧しいと思っていたけれど、そのことを嫌だとは感じていませんでした。何より、母がそばにいればそれだけでいいと思っていました。母にはこの世でいちばん感謝しているし、とても大切に大好きな人です。これからは、わたしが幸せにしてあげる番だと思っています。

芸能活動を始めたのは、中学2年

生の終わりころ。初めはエキストラをしていました。そのころはただ漠然と「芸能界に入りたい」と思っていました。その後高校へ入りましたが、高校3年生の冬、就職活動も進学もせず、卒業しました。

しかし、それから仕事は何もなく、わたしは何をやっているのだろうと焦りもあり大変でした。それが諦めが変わろうとしたころ、映画「カンゾー先生」のオーディションにめぐり逢ったのです。ヒロインのソノ子役に最終選考で選ばれたときは、言葉にできないくらい嬉しかったです。そして、「カンゾー先生」でアカデミー賞最優秀助演女優賞を始め、数々の賞を頂きました。この映画に出演できたことがきっかけで映画の道を歩いていけるこ

とは、本当に幸せです。今、心からそう思っています。

映画はとても好きで、本当にこの仕事ができると幸せだと思つていました。わたしの映画を観て「自分も負けないようにいろんなことを頑張りたい」「落ち込んでいたけど元気になりました」など、温かいファンレターを頂いたことがあります。そういう手紙を読むと本当に感動します。自分のやってきたことがこういう形で自分に返ってくるのだと。芝居はいつまでたっても難しく、自分にこの仕事に向いているのか今でもわかりません。でも、せっかくだ表現できる場にいる幸せを無駄にしないよう、常に迷って、いろいろなことを吸収して勉強し続けていきたいです。



PROFILE

1978年山武市生まれ。1999年第22回日本アカデミー賞 最優秀助演女優賞 新人俳優賞受賞、2002年第11回日本映画プロフェッショナル大賞 最優秀主演女優賞受賞。2008年第50回ブルーリボン賞、第62回毎日映画コンクール、第32回報知映画賞 最優秀主演女優賞受賞。

「芸能界に入りたい」という夢は叶いました。一昨年、結婚もしました。次は、こだわったマイホームを持つのがわたしの夢です。カウントーキッチンで、子どもができたらかはんを作りながら見ていきたい。常に家族とつながっていられたらいい空間を。そんな家をいつか建てられたらいいなあと思っています。

最後に、人生いろいろあるから、立ち止まったり、悩んだりすると思うけど、そのとき正しいと思つたほうに自分が歩いていければいいと思います。そうやって色々な人のいる道ができるから面白いと。「目指す人はいますか」とよく聞かれますが、わたしはわたしでありたいと思つているし、わたしの道を作っていきたいと思っています。